

# 琵琶湖湖岸清掃活動

～びわ湖から海ごみ問題を考える～



## 1. 背景

世界の大きな社会問題の一つである海洋ごみの問題。その7～8割は街で発生したごみだと言われており、同様の問題が琵琶湖でも起こっている。琵琶湖の水は、瀬田川・淀川を通じて大阪湾に流れ込むことから、琵琶湖のごみを減らすことは海洋ごみ問題の対策にも繋がっていく。

そこで当協会は、2021年3月から近畿の大学に通う大学生たちを中心に、琵琶湖の湖岸で清掃活動を開始し、毎年夏と春の2回継続的に清掃活動を実施。

## 2. 目的

琵琶湖の清掃活動を通じて、MLGsのゴール4「水辺も湖底も美しく」への貢献を目指すと共に、海洋ごみ問題の改善にも貢献する。また琵琶湖湖岸の清掃活動を通じて、近畿圏で生活している大学生たちに、琵琶湖の恩恵を受けて生活していることを強く実感してもらう。

## 3. 活動内容・成果



彦根市・米原市・長浜市の湖岸で清掃活動を実施

### 1次隊

2021年3月16日

▼清掃範囲  
松原水泳場（米原市）  
～さいかち浜（長浜市）

▼参加人数 ▼除去量  
59人 可燃101袋・不燃81袋

### 2次隊

2021年10月31日

▼清掃範囲  
入江橋（米原市）  
～さいかち浜（長浜市）

▼参加人数 ▼除去量  
58人 可燃148袋・不燃16袋



### 3次隊

2022年3月23日～25日

▼清掃範囲  
北：松原水泳場（米原市）  
～湖岸緑地 長沢公園（米原市）  
南：湖岸緑地 田附（彦根市）  
～滋賀県水産試験場付近（彦根市）

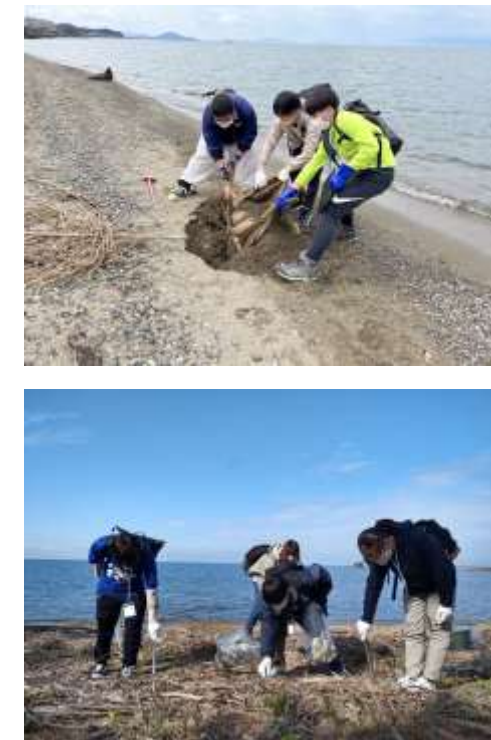
▼参加人数 ▼除去量  
68人 可燃526袋・不燃72袋

### 4次隊

2022年9月13日～15日

▼清掃範囲  
湖岸緑地 南三ツ谷（彦根市）  
～エクシブ琵琶湖（米原市）

▼参加人数 ▼除去量  
66人 可燃202袋・不燃36袋



### 5次隊

2023年3月16日～18日

▼清掃範囲  
湖岸緑地 八坂（彦根市）  
～道の駅 近江母の郷（米原市）  
祇園町湖岸（長浜市）

▼参加人数 ▼除去量  
103人 可燃529袋・不燃290袋

### 読売テレビさんと一緒に清掃活動

2022年7月22日・23日  
鳥人間コンテストの会場の松原水泳場で、スタッフの方、出場チームの方と一緒に清掃活動を実施。



## 4. 結果・考察

- 2年間で**5**回の活動を実施
- 計**348**人が参加し、可燃ごみ**977**袋・不燃ごみ**205**袋を回収（5次隊の成果は含まず）

- 人の出入りがほとんどなさそうな湖岸（草木が生い茂っている場所）では、一度湖岸に漂着すると、湖に再び流出せず堆積し続けている印象



## 5. 今後に向けて

- 同じ湖岸にごみが何度も漂着し続けているため、他の場所に移行できないことが課題
- 琵琶湖は外周が約**240km**あるため活動頻度や規模を大きくしたい。近隣の住民の方にも積極的に声をかけていき一緒に清掃活動に取り組みたい

## 6. 参加者の声

琵琶湖は関西に住む私にとってはずっと身近なものですが、実際に湖岸に行くと想像以上のゴミがあり、衝撃を受けました。

それだけ多くの琵琶湖のゴミを無くすためには拾うだけではなく、この状況を多くの人に知ってもらう

ことの必要性も強く

感じた活動でした。

（同志社大学2年

寺下咲子）

